

名取昭弘先生の履歴と業績

学歴

昭和37年 4月	成城大学経済学部入学
昭和41年 3月	成城大学経済学部卒業 [経済学士]
昭和42年 4月	成城大学大学院経済学研究科修士課程入学
昭和44年 3月	成城大学大学院経済学研究科修士課程修了 [経済学修士]
昭和44年 4月	成城大学大学院経済学研究科博士課程進学
昭和47年 3月	成城大学大学院経済学研究科博士課程単位取得後退学

職歴

昭和47年 4月～昭和51年 3月	亜細亜大学経済学部経済学科講師
昭和51年 4月～昭和60年 3月	亜細亜大学経済学部経済学科助教授
昭和52年10月～昭和56年 9月	亜細亜大学経済学部教務主任補佐
昭和56年10月～昭和57年 3月	亜細亜大学経済学部教務主任
昭和59年11月～昭和61年 3月	亜細亜大学経済学部教務主任
昭和60年 4月～平成25年 3月	亜細亜大学経済学部経済学科教授
昭和61年 9月～昭和62年 8月	英国 LSE 大学院に Research Fee (First Class) として留学
昭和62年10月～平成元年 3月	亜細亜大学経済学部教務主任補佐
平成 9年 4月～平成11年 3月	亜細亜大学経済学部長
平成 9年 4月～平成11年 4月	亜細亜学園理事
平成13年 4月～平成16年 3月	亜細亜大学就職委員長
平成16年 4月～平成18年 9月	亜細亜大学入試委員長
平成17年 4月～平成18年 9月	亜細亜大学個人情報保護委員会委員
平成18年 6月～平成21年 6月	亜細亜学園評議委員
平成22年 4月～平成24年 3月	亜細亜大学キャリア教育評価委員会委員

非常勤講師

昭和51年 4月～昭和59年 3月	高千穂商科大学商学部、「金融論、外国為替論」担当
昭和53年 4月～昭和61年 3月	日本ルーテル神学大学神学部、「経済学」担当
昭和60年 4月～平成 3年 3月	松陰女子短期大学、「経済学、金融論」担当
平成元年 4月～平成12年 3月	埼玉女子短期大学、「経済学、金融論」担当
平成 3年 4月～平成 4年 3月	城西大学経済学部「経済学、財政金融政策、演習」担当

学会及び社会における活動等

昭和46年5月	日本金融学会
昭和47年5月	日本経済政策学会
昭和49年10月	日本経済学会（理論・計量経済学会）
昭和63年9月	景気循環学会
平成6年3月	日本ファイナンス学会
平成11年4月	日本経済政策学会関東部会・理事
平成12年7月	経済教育学会
平成13年4月	日本FP学会
平成22年4月～平成23年3月	大学基準協会大学評価委員会全学評価分科会第9群委員

その他、多数の市民講座講師、東京都商工指導所の下での「広域商業診断」調査員など

著書・学術論文等の名称

発行日

書名、雑誌名、出版社等

著書

『経済学辞典』	共著	昭和55年4月	講談社
『マネタリー・エコノミックス』	単著	昭和61年4月	中央経済社
『マクロ経済学』	共著	平成5年4月	八千代出版

学術論文

(修士論文)

「ミルトン・フリードマンの貨幣数量説について」	単著	昭和44年1月	成城大学 大学院経済学研究科
「ミルトン・フリードマンの貨幣数量説について」	単著	昭和45年12月	『成城大学経済学研究』33号

(博士課程修了論文)

「新しい貨幣理論」	単著	昭和47年1月	成城大学 大学院経済学研究科
「利子理論についての最近の論争」	単著	昭和47年12月	『亜細亜大学経済学紀要』第7号
「貨幣理論の分析的フレーム・ワークについて」	単著	昭和48年12月	『亜細亜大学経済学紀要』第8号
「現代インフレーションと伝統的物価理論」	単著	昭和50年6月	『亜細亜大学経済学紀要』第12号
「物価予想・実質残高と利子率」	単著	昭和50年12月	『亜細亜大学経済学紀要』第13号

「インデクセーションについて－M. フ リードマンの所説をめぐって」	单著	昭和51年 5月	日本経済政策学会『年報』第24号
「ミルトン・フリードマン『インフレーションと失業』」	单著	昭和53年 9月	『亜細亜大学経済学紀要』第4巻第1号
「IS-LM モデルと貨幣量変化の動学的調整」	单著	昭和55年 1月	『亜細亜大学経済学紀要』第5巻第2号
「貯蓄のあり方と消費のあり方」	单著	昭和55年 2月	『販売士』2月号（日本販売士協会）
「不確実性下の貨幣の基本概念について(I)」	单著	昭和58年 4月	『亜細亜大学経済学紀要』第8巻第3号
「不確実性下の貨幣の基本概念について(II)」	单著	昭和59年 1月	『亜細亜大学経済学紀要』第9巻第2号
「IS-LM モデルとマネー・サプライ・コントロールについて」	单著	昭和60年 5月	日本経済政策学会『年報』第33号
「不確実性下の貨幣の基本概念について(III)」	单著	昭和60年 6月	『亜細亜大学経済学紀要』第10巻第3号
「不確実性下の貨幣の基本概念について(IV)」	单著	平成9年 5月	『亜細亜大学経済学紀要』第15巻第2号
「貨幣数量説の新次元」	共著	平成4年10月	『マネタリズム』（文化書房博文社）
「モンゴルの金融制度改革について」	共著	平成12年 3月	『アジア研究所・アジア研究シリーズ』 No.34
「デフレーション、金融不安定性と金融政策」	单著	平成20年 3月	『亜細亜大学経済学紀要』第32巻第1・ 2号

翻訳

『インフレーションの経済学』	共訳	昭和52年 3月	ダイヤモンド社
『マネタリズム～ケイジアン経済学の崩壊』	共訳	平成4年10月	文化書房博文社
『マクロ経済学～理論と実際』	共訳	平成6年 5月	マグロウヒル出版
『イギリスの秘書～国際秘書実務入門』	共訳	平成7年 4月	文化書房博文社
『マクロ経済学』（上）	共訳	平成8年 3月	CAP 出版
『マクロ経済学』（下）	共訳	平成8年11月	CAP 出版

その他

「日本画における写生主義の流れ・雑感」	单著	平成7年 2月	『名取榮子画集』（芸林社版）
「くだもの随想」	单著	平成12年 1～3月	『山梨の園芸』（山梨県果樹園芸会）
「格差社会について」	单著	平成20年 3月	『Annals』No.31（亜細亜大学経済社会 研究所）